

1. 公明党（大矢根 秀明）

質問開始時刻：2月24日 午前10時15分

質問時間：120分

1. 令和5年度市政運営の基本姿勢について
 - (1) 川西市が変わり始めたと市民が実感する具体的な内容について
 - (2) 改革による「何気ない日常に幸せを感じるまち」の具体的な目標について
2. 新型コロナウイルス感染症対応について
 - (1) 感染法上の分類変更に伴う市の対応について
3. 「（仮称）新時代創造プラン」について
4. 令和5年度主要施策について
 - (1) 「北部地域まちづくり方針」について
 - (2) データに基づく交通安全施設の整備について
 - (3) 高齢者の運転免許返納に対する報奨制度について
 - (4) 舎羅林山ネットワーク道路に係る調査について
 - (5) 空家等対策計画の改定について
 - (6) 旧川西高校解体設計について
 - (7) 「（仮称）健康増進計画」の策定について
 - (8) がん検診自己負担の無料化について
 - (9) 「親なき後」を支える相談支援体制の拡充について
 - (10) 留守家庭児童育成クラブの開所日の拡充及び待機児童対策について
 - (11) ヤングケアラーの啓発・支援について
 - (12) 市内全小・中学校での校内フリースクールの開設について
 - (13) （仮称）生涯学習アカデミーのプレオープンについて
 - (14) 市長公室の設置について
 - (15) 自治会活動に係る補助等の拡充について
 - (16) 教育大綱の策定について
 - (17) 「おくやみコーナー」の設置について
 - (18) 公共施設のZEB化改修の検討及び電気自動車等の導入について
 - (19) 未利用財産に係る利活用方針の策定について
 - (20) 内部統制の取り組みの具体的内容について

2. 川西まほろば会（秋 田 修 一）

質問開始時刻：2月24日 午後1時15分

質問時間：120分

1. 市政運営について

- (1) これまで推し進めてきた改革の総括について
- (2) 上記の項目を踏まえて、改革をさらに推し進めることはどんなことかについて
- (3) 特に市民のみなさまに実感していただけたことについて

2. 国の経済状況・ポストコロナ期の社会について

- (1) 新型コロナウイルス感染症により新たに生まれたニューノーマル社会をふまえて、この3年間での動きを定着、加速させていくことについて
- (2) ゼロカーボンシティ宣言、低炭素のまちづくりと今後の地球環境に対する未来責任について
 - ① 公共施設の長寿命化、総合管理計画とZEB化との整合性について
 - ② あわせて都市計画マスタープラン・景観計画について
 - ③ 緑の基本計画の考え方について（緑化なのか都市化なのか目的別なども併せて）
- (3) 大阪・関西万博への職員派遣の目的と期待される効果について

3. 市制70周年にむけた今後のまちづくりについて

- (1) まちづくりが成熟期を迎えた次に向かうべき方向性について
 - ① まちなか拠点の運営について
 - ② 産業ビジョンの進捗に合わせた中心市街地の考え方について
- (2) 人口減少社会・少子化を迎え、まちとしての適正規模や適正人口についての考え方について
- (3) 北部地域のまちづくり方針を考えるにあたり、縦長の本市の全体的な役割や地域性の考え方について

4. 令和5年度の予算編成及び重点施策について

- (1) 基本的な考え方について
 - ① 子どもが幸せになる川西をつくるという考え方と財源確保の考え方の比較について
 - ② 医療費の助成制度が大きく変わりますが、その財源確保について
 - ③ 新時代創造プランと教育大綱の考え方について
 - ④ 子ども・若者未来計画について
 - ⑤ 市制70周年を迎えるにあたり周年記念事業について
 - ⑥ 市史編纂の進捗について
- (2) 令和5年度の重点施策について

- ① 第一に、政策は子ども・教育から始めるという考えについて、全市民的に取り組むことについて
- ② 校内フリースクール設置に加えて、そうならないための働きかけについて
- ③ ペアレントトレーニングの対象と考え方について
- ④ 保護者の声を教育行政に反映するスキームについて
- ⑤ 生涯学習・社会教育に対する考え方について
- ⑥ レフネックや高齢者大学、生涯学習アカデミーの考え方について
- ⑦ 第二に福祉及び医療分野は誰もが自分らしく生きていくとありますが、それこそが社会教育の考え方ではないのかについて
- ⑧ 地域医療連携法人川西・猪名川ヘルスケアネットワークのこれからの展望について。国がかかりつけ医機能の制度整備に向けての閣議決定が発表されましたが、その整合性について
- ⑨ 認知症対策アクションプランについて
- ⑩ 第三の持続可能なまちの実現について、行財政改革と市民活動や団体運営の並列について
- ⑪ 透明性・公平性・公益性が認められるものについて
- ⑫ 市の出資法人を統合することによるメリットとその展望について
- ⑬ 行政サービス向上のためのワンストップ化について

5. 主要施策

(1) 暮らし

- ① 民間分譲マンションに対するアドバイザー派遣について取り組もうとした背景について
- ② 空家等対策計画の主な改定内容について
- ③ 川西の文化・スポーツを支援する活動拠点の環境整備をするとあるが、その考え方について

(2) 安全安心

- ① 健康増進計画、地域福祉計画他、福祉分野における様々な計画が策定されますが位置づけや整合性について
- ② 消防団業務の効率化が地域の防災力を高めるのかについて
- ③ 航空機騒音対策区域外の共同利用施設の在り方について、また逆に区域内の施設の在り方について

(3) 生きがい

- ① ヤングケアラーを含め、支援が必要な子どもの教育・保育支援計画とそのサポート体制について
- ② 学校運営協議会の設置状況・近況や展望について
- ③ 中央図書館で自動貸し出しや授乳室を設けることについて

(4) つながり

- ① 多文化共生社会の実現のために市長公室を設け人権施策を進める
スキームについて

3. 連合かわにし市民の会 (福 西 勝)

質問開始時刻：2月24日 午後3時30分

質問時間：90分

1. 中学生が少人数で授業を受けられる環境づくりについて
 - (1) 新年度における教職員の充足される見込みについて
 - (2) 2カ年とされる理由と英語・数学とされる理由について
2. 乳幼児等医療費及び子ども医療費助成の拡充について
 - (1) 新規の助成額における高校生の年齢の入院費用と乳幼児等及び子どもの医療費額の内訳について
 - (2) 市内医療機関への影響について
3. 教育大綱の策定について
 - (1) 具体的な策定に向けた取り組みについて
 - (2) 教育大綱の開始年度と期間について
4. 特色ある公園づくりについて
 - (1) 進捗状況について
 - (2) 今後の進め方について
5. 公営住宅の跡地について
 - (1) 東谷団地跡地等を公園にする考えについて
 - (2) 絹延団地周辺と久代団地周辺のまちづくりについて
6. 旧川西高校跡地の活用について
 - (1) 隣接する加茂小学校第2運動場とのあり方について
 - (2) 人工芝グラウンド整備の考えについて
7. 中央図書館の充実について
 - (1) 段階的に導入するICタグなどの内容について
8. 旧南部処理センター跡地活用について
 - (1) し尿中継場の今後について
 - (2) 跡地売却の可能性について
 - (3) スケートボードができる施設整備の考えについて

4. 日本維新の会川西市議団 (坂口美佳)

質問開始時刻：2月27日 午前10時00分

質問時間：75分

1. 令和5年度の市政運営に向けて
 - (1) 「市民とともに歩む」基本姿勢の具体について
2. 国の経済状況・ポストコロナ期の社会について
 - (1) 地球温暖化による気候変動への対応の進捗と今後の課題について
 - (2) 2025年日本国際博覧会協会に職員を派遣する目的について
3. 令和5年度の予算編成及び重点施策について
 - (1) 「子どもが幸せになる川西をつくる」で「子どもの幸せ」の考え方について
4. 主要施策について
 - (1) 「暮らし」の視点について
 - ① 交通安全対策の具体的な内容について
 - ② 旧川西高校跡地をスポーツの活動拠点として活用する考えについて
 - (2) 「安全安心」の視点について
 - ① がん検診の自己負担無料化の効果について
 - ② 「親なき後」を支える相談支援体制の拡充の背景と効果について
 - ③ 認知症対策アクションプランの内容と市民理解を広める取り組みについて
 - ④ 介護支援専門員の資格更新費用の支援に係る現状認識と効果について
 - ⑤ 北消防署の再編整備の見通しについて
 - (3) 「生きがい」の視点について
 - ① 妊娠・出産・子育てに関する相談体制の基本的な考え方について
 - ② ペアレントトレーニングの現状と実施主体について
 - ③ 校内フリースクールの人員基準とスクールカウンセラーの配置について
 - ④ 図書館におけるICタグ活用の効果について
 - (4) 「つながり」の視点について
 - ① 多文化共生社会をめざす基本的な考え方について
 - ② 市政情報の発信にテレビのデータ放送を活用するメリットについて
 - ③ 自治会等の活動支援による加入者確保策について
 - (5) 「行政経営改革大綱」の視点について

- ① 「教育大綱」で示す川西市が目指す教育について
- ② 行政手続きのワンストップ化やオンライン化推進による「業務の効率化」の方向性について

5. 日本共産党議員団 (黒田美智)

質問開始時刻：2月27日 午後1時00分

質問時間：120分

1. まちづくりの要である市政運営のあり方について

- (1) 中学校給食実施後の市の見解及びそれぞれの感想や課題・対策について
 - ① 生徒の感想、及び生徒から発信されている課題と解決策について
 - ② 保護者の感想、及び保護者から発信されている課題と解決策について
 - ③ 学校現場の感想、及び学校現場から発信されている課題と解決策について
 - ④ 給食センターへの職員配置の実態と課題について及び今後の見通しについて
- (2) 市立総合医療センター整備後の市の見解と課題について及び今後の対応、見通しについて
 - ① 2病院を統廃合、急病ベッド158床を減じたことの実態について及び市の見解、課題と対策について
 - ② 整備計画と実態について(シャトルバスやラピッドレスポンスカーの運行など)の見解について及び課題と対策について
 - ③ 市立川西病院の職員として勤務してきた方を全員解雇したことへの総括について
- (3) 「市民とともに歩む」ことと「市民の声や願いを受け止め実現に向けて取り組む」ことへの考え方について
- (4) 毎年繰り返される組織再編は、市民の市政への信頼や要求実現に寄与するものになるのかについて(さらにトップダウンのあり方が強まらないか、内部統制の取り組みも含む)
 - ① 市長公室とは何か、何が変わるのかについて及び権限強化につながるのかについて
 - ② 市民が混乱しないため、市民にわかりやすい信頼される取り組みの具体について

2. 国の経済状況・ポストコロナ期の社会で市民を守ることにについて

- (1) ポストコロナ期の社会で市民の命を守ることにについて

- ① 必要な医療、PCR・抗原検査、ワクチン接種など公費負担を継続するよう国に意見を述べることについて
 - ② 副反応・後遺症の相談体制、医療の確保を拡充するよう国に意見を述べることについて
 - ③ 国が①②を行わない時は、市としての適切な対策を講じること及び保健所を復活させることについて
- (2) 市民の安心・安全を担保することについて
- ① マイナンバーカード普及について、市民に十分な情報提供を行い、理解・納得を得ているかについて
 - ② マイナンバーカードを強制させないこと、持たない人に不利益を被らせないことを国に意見を述べること
 - ③ 市民への窓口・電話対応などは、丁寧にわかりやすく工夫することを基本に行政運営を行うこと（ICT活用の滞納処分が機械的に行われることがないように）
 - ④ インボイス制度は中止するよう国に意見を述べること
- (3) 陸上自衛隊：伊丹駐屯地のある市で意思を表明することについて
- ① 国に「安保関連3文書」の撤回を求めること
 - ② 国に憲法遵守、九条を守るように意見を述べること
 - ③ 市民の命、暮らし、財産を守る立場で国に強く意見を述べること
3. 人口減少させないまちづくりを進めることについて
- (1) 人口減少させない、持続可能なまちづくりを進めていくための取り組みの必要性についての考え方について
- ① 清和台・東谷幼稚園の公立園としての存続とこども園化を進めることについて
 - ② 市長部局へ移す図書館、公民館（行政センター）への考え方について及び本来のそれぞれの目的を遂行することについて
 - ③ 北消防署の再編のあり方について
 - ④ 教育委員会からなぜ、こども未来部を市長部局に移すのかについて
今までの経過、及びこども政策課は市長部局へ、学校・幼稚園・こども園・保育所は教育委員会のままで矛盾は起こらないのかについて
 - ⑤ 学校給食の無償化の継続や0～2歳児までの保育料無償化などさらに子育て応援を進める考え方について
- (2) 第6次総合計画は市民意見を反映して策定することの考え方について
- ① 市長のマニフェストと市民意見の整合性についての考え方について
- (3) 様々な計画や施策は現場中心で進めることについて
- ① 教育・保育施設、公民館・図書館などの出先機関の施策を進める時

- には、現場への情報提供・説明責任、現場の知恵と力を借りて、現場中心で施策策定・展開できるように行うことへの考え方について
- (4) 北部医療の確保を行うことについての考え方について
 - ① 北部の医療確保のために旧川西病院において発熱外来の設置や北部診療所で明らかにしていた内容を行う考え方について
 - ② 市内で出産できる場所の確保への考え方について
 - (5) 移動権を確保できる公共交通を確保することについて
 - ① 住宅都市として良好な住環境を維持するための公共交通の存続を求める取り組みについての考え方について
 - ② 住みよい街になっていくための地域公共交通の策定・実施にむけた取り組みの具体について及び移動権の確保について
 - (6) 持続可能なごみの処理方法のあり方についての考え方・方向性について
 - ① 今年度からはじまった地域別収集への市としての見解について及び市民からの意見・課題と今後の取り組みについて
 - ② 人口減少・ごみ量減少が進む中での国崎クリーンセンターの灰溶融炉廃止、大規模改修・長寿命化計画と一般廃棄物処理基本計画策定への市の考え方について

6. 市民ファーストかわにし（斯波康晴）

質問開始時刻：2月27日 午後3時15分

質問時間：120分

- 1. 「市民とともに歩む」という基本姿勢について
- 2. 「何気ない日常に幸せを感じるまち」をめざし、「改革が加速する」市政運営について
- 3. 少子高齢、人口減少下における本市のまちづくりの考え方について
- 4. 令和5年度の予算編成及び重点施策の考え方について
 - (1) 予算編成の考え方について
 - ① 子ども・教育関連を重点化したことについて
 - ② （仮称）新時代創造プラン策定の考え方について
 - (2) 重点施策の考え方について
 - ① 子ども施策を機能的に実行するためとしてこども未来部を市長部局とすることについて
 - ② 社会教育関連所管を市長部局とし、新たな生涯学習・社会教育の場を創ることについて
 - ③ 川西リハビリテーション病院が提供する小児科ならびに応急診療

機能に係る市のサポートについて

5. 令和5年度の主要施策を通したまちづくりの考え方や方向性について

- (1) 各地域における住環境の改善に向けた取り組みを進めることについて
① 中心市街地の活性化における課題認識と施策展開の考え方について
② 北部地域のまちづくりにおける課題認識と施策展開の考え方について
③ 南部地域のまちづくりにおける課題認識と施策展開の考え方について
- (2) 市立就学前教育保育施設の再編のあり方と子育てや子どもを核とした施策の考え方について
- (3) 少子高齢社会の中、障がい児者を含め誰もが安心して暮らせる環境を整えていく方向性について
- (4) 本格的な高齢社会に対応した医療体制や健康づくりの仕組みの充実をはかる方向性について
- (5) ゼロカーボンシティ実現と景観、自然環境の保全に係る施策の方向性について

6. 行財政改革大綱の視点について

- (1) 市民公益活動団体等を公募し、協働の取組を進めることの考え方について